

著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。

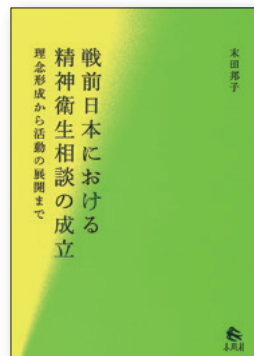


杉浦康平と写植の時代 光学技術と日本語のデザイン

創造表現学部・准教授・阿部卓也

- ▶ A5判 ▶ 488ページ ▶ 慶應義塾大学出版会
- ▶ 本体4,000円+税 ▶ 2023年3月31日発行
- ▶ 宇宙としてのブックデザイン

戦後日本のグラフィックデザインを牽引したデザイナー、杉浦康平。彼は写植という新たな技術といかに向きあい、日本語のデザインといかに格闘したのか。杉浦康平が日本語のレイアウトやブックデザインに与えた決定的な影響を明らかにする。



戦前日本における精神衛生相談の成立 -理念形成から活動の展開まで-

福祉貢献学部・准教授・末田邦子

- ▶ A5判 ▶ 210ページ ▶ 春風社
- ▶ 本体5,000円+税 ▶ 2023年2月25日発行

▶ 日本において精神病患者への相談に始まった専門相談は、どのような動きの中で「精神衛生相談」に変容し、それは誰が担い、どんな機能を持っていたのか。精神衛生相談の成立過程をたどり、特徴を明らかにすることを試みた研究書。